

Program

- 第1部 チャールダシュ (モンティ)
アイネ・クライネ・ナハトムジーク 第1楽章 (モーツァルト)
交響曲第94番「驚愕」第2楽章 (ハイドン/トパーニ編)
トリオ・ソナタ第5番 ハ長調 第1楽章 (J.S.バッハ*)
クラリネット5重奏曲 第2楽章 (モーツァルト)
ヴァイオリン・ソナタ第1番 第3楽章 (ベートーヴェン)
- 第2部 ウィリアムテル幻想曲 (ロッシーニ/朝吹英一編)
歌劇「椿姫」抜粋曲 (ヴェルディ/小林美隆版*)
影の歌 ~歌劇「ディノーラ」(マイヤペア*)
テネシー・ワルツ (キング*)
煙が目にしみる (カーン*)
月光值千金 (シェイ*)
鐘になったアマリリス (松園洋二)
カルメン綺想曲 (ビゼー*)

*は松園洋二編

※プログラムは変更になる場合がございます。
予めご了承ください。



通崎睦美の 木琴日和



木琴

通崎睦美

Mutsumi Tsuzaki

© 阿部研二

2023.3/25 [土]

14:00 開演 (13:00開場)

那須町文化センター大ホール

〒329-3215 栃木県那須郡那須町寺子乙2567-10

入場料 **全席自由** 一般 1,000円 (税込) / 高校生以下 **無料** ※要チケット

※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※前売券が完売の場合、当日券の販売はありません。
※本コンサートは(公財)三井住友海上文化財団の助成により特別料金に設定しています。

チケット
販売所

- ・那須町文化センター TEL.0287-72-6565
- ・那須町役場 会計課、湯本支所、芦野支所、伊王野支所
- ・道の駅 那須高原友愛の森 観光交流センター
TEL.0287-78-0233

2023年
1/25(水)
発売

【主催】那須町教育委員会・栃木県・公益財団法人三井住友海上文化財団

【お問い合わせ】那須町文化センター TEL.0287-72-6565 (9:00~17:00)



ピアノ

松園洋二

Yoji Matsuzono

© 中川忠明



※駐車スペースには限りがありますので、できるだけ乗り合わせてお越しください。

三井住友海上文化財団 ときめくひととき 第912回

このコンサートは(公財)三井住友海上文化財団の助成により開催しています。





©inoue yoshikazu

通崎 睦美 (木琴) Mutsumi Tsuzaki

1967年京都市生まれ。京都市立芸術大学大学院音楽研究科修了。マリンバのソリストとして活動する中、2005年東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会(指揮/井上道義)で、木琴の巨匠・平岡養一氏が初演した紙恭輔「木琴協奏曲」(1944)を平岡氏の木琴で演奏。それを機に、氏の愛器と約600点にのぼる楽譜やマレットを譲り受けた。以後、演奏・執筆活動を通して木琴の復権に力を注いでいる。2013年に上梓した平岡の評伝『木琴デイズ 平岡養一「天衣無縫の音楽人生」』(講談社)で、第24回吉田秀和賞、第36回サントリー学芸賞(社会・風俗部門)を受賞。2018年4月には、ニューヨーク州立大学オスウィゴ校の招きで渡米。同大学をはじめニューヨーク州郊外の各地でコンサートやマスタークラスを行った。また、2000年頃よりアンティーク着物の着こなしが話題となり、コレクションやライフスタイルが様々なメディアで紹介されている。同時期より文筆活動を始め現在に至る。CDに「1935」「スパイと踊子」他。著書に『天使突抜一丁目〜着物と自転車と』『天使突抜367』(淡交社)、『天使突抜 おぼえ帖』(集英社インターナショナル)他。2021年、第39回京都府文化賞功労賞受賞。

オフィシャル・ウェブサイト「通崎好み製作所」
<https://www.tsuzakimutsumi.com>



HP



Youtube



©中川忠明

松園 洋二 (ピアノ) Yoji Matsuzono

京都市立芸術大学音楽学部作曲専修卒業、音楽学部賞受賞。同大学院修了。主な作品に、音楽物語「きつねのおきやくさま」、歌曲集「工藤直子の詩によるうたの絵本」などがある。作品を発表する傍ら、伴奏ピアニストとしても幅広く活動。京都フランス音楽アカデミーや数々のコンクールにて伴奏を務める。京都フィルハーモニー室内合奏団のピアニストを経て、現在、武庫川女子大学音楽学部教授。



使用楽器

ディーガン・アーティスト・スペシャル・ザイロフォンNo.266。

1935年アメリカ製(1962年改造)。

木琴の巨匠・平岡養一が愛用した、幅約2.2メートル、ケースに入れて100キロを越える大型の木琴で、4.5オクターヴの音域を持つ。昭和40年前後の一時期、この楽器の調律は、那須塩原市(元黒磯市)在住の故・時庭忠久氏が担当した。

平岡養一について

1907(明治40)年生まれの木琴奏者。独学で木琴を習得し、慶應義塾大学経済学部在学中の1928(昭和3)年にデビュー。1930(昭和5)年、単独渡米。NBCと契約を結び、10年9ヶ月の間、毎朝の生放送で木琴を演奏し、人気を博した。1942(昭和17)年、日米開戦を機に帰国。戦中も各地に出向き精力的な演奏活動が続ける。戦後は、NHK「紅白歌合戦」の前身、「紅白音楽試合」に出演するなど国民的音楽家として親しまれた。1963(昭和38)年、アメリカに居を移すが、度々来日し晩年まで日本でも精力的な演奏活動を展開した。なお、平岡は、栃木県那須塩原市に設立された日本初のマリンバメーカー「ミヤカワマリンバ研究所」(1947-1962)の社外取締役役に就任、当社楽器製造のアドバイザーを行っている。1981(昭和56)年没。

ご来場の皆様へ

新型コロナウイルス
感染拡大防止対策に
ご協力ください



入場前検温を
実施しています



マスクの着用を
お願いします



手指の消毒を
お願いします